

床面専用補修材（1～3 mm）
（露出仕上げ可能）

ハードモルタル床用 （薄塗用） 【施工要領書】



二瀬窯業株式会社

用 途

適応下地 コンクリート、モルタル面 等
不陸調整 塗厚 1～3 mmの補修及び露出仕上げ

施 工 手 順

1. 下地の確認

- (1) 下地面の突起物、レイトンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。

ズレ、浮きの原因となりますので下地がコンクリート金ゴテ仕上げ、モルタル押さえ仕上げ等の場合はサンダーや高圧洗浄機などで目荒らしを行ってください。

- (2) 極端な不陸・ジャンカ・豆板・大きなひび割れ・大きな気泡穴・破損部分等は予めハードモルタル床用（厚塗用）にて補修を行ってください。

※補修した際には、24 時間以上養生を行って下さい。

※塗厚が異なる場合、押さえムラ、色ムラの原因となります。

- (3) 露出した鉄筋・番線・釘等は錆を除去した後、エポキシパテ等で防錆処理して下さい。

2. 吸水調整

- (1) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス 3 の 3 倍希釈液にて吸水調整を行って下さい。下地表面が乾燥した後、ハードモルタル床用（薄塗用）の施工に移って下さい。目安としては 4 時間以上です。

※下地の吸水が大きい場合はユニレックス 3 の 3 倍希釈液を塗布した後、乾燥後もう一度ユニレックス 3 の 3 倍希釈液を塗布して下さい。

※下地の吸水が大きい場合、仕上がり（気泡、色等）に影響が生じます。

【希釈配合】

3 倍希釈液…ユニレックス 3	1L	+	清水	2L
ユニレックス 3	270m ² /缶		(18L/缶)	

3. 材料の混練

- (1) ハードモルタル床用（薄塗用） 1袋（25kg）に清水約6.0Lを加えてハンドミキサー等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜて下さい。

※水量が過度に多い場合、強度不足や仕上がりに大きく影響しますので水量と混練時間は厳守してください。**（壁面に施工できる軟度が目安となります。）**

調合…ハードモルタル床用（薄塗用）	25kg +	清水 約 6.0L
ハードモルタル床用（薄塗用） 約 8.2m ² （塗厚 2mm時）		

4. 塗り付け

- (1) 施工面に対してコテ圧を十分にかけながらしごき塗り（ガリガリとこすり付ける様に）を行って下さい。
- (2) しごき塗りした後、追っかけにて所定の厚みまで塗り付けて下さい。

5. 仕上げ

- (1) 仕上げ施工に応じて、金ゴテで仕上げて下さい。
- (2) 水打ちをしてのコテ押えは、モルタル表面強度を低下させる要因となりますので、水打ちの際は、ユニレックス3の8～10倍液を散布して下さい。
- ※色ムラの原因となりますので、過度の水打ちやコテ押えは避けてください。

6. 養生

- (1) 塗り付け後に、降雨雪の恐れのある場合、または、通風・日照の激しいときはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
- (2) 夏場施工の際には、ハードモルタル床用（薄塗用）の塗り付け翌日以降に散水養生を行って下さい。
- (3) 塗り付け後の養生期間は7日以上とし、その後、次工程に移って下さい。

注 意 事 項

1. 寒冷期、気温が 3℃以下及び 3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
2. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
3. ハードモルタル床用（薄塗用）の保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
4. ハードモルタル床用（薄塗用）には、当社が指定したもの以外のものを混入しないで下さい。
5. 混練した材料は 40 分以内に使用して下さい。